

県内製造販売のヨーグルトに脚光

乾燥肌女性の救世主!?

乳酸菌「H61株」を使用して、県内の事業者が製造販売しているヨーグルト製品が注目を集めている。H61株には、抗酸化や免疫活性化などのアンチエイジング（老化抑制）作用があり、肌の保湿にも効果があるとみられているからだ。このため、冬の乾燥肌に悩む女性の「救世主」になるとの期待も寄せられている。

（海老原由紀）

H61株の作用は、つくば市池の台の農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）畜産草地研究所が発見。平成22年に、アンチエイジング作用などがあるとして特許も取得している。

これまでのマウスを使った試験では、H61株を投与したところ、骨密度の減少や皮膚の潰瘍発生、脱毛などの抑制が確認された。20〜60代の女性39人がH61株を4週間摂取した試験では、50〜60代女性の肌の水分量が増加したとい

う。

「こうした結果を受け、農研機構とJA茨城みずほ（常陸太田市山下町）は共同で、20年にドリンクタイプ「WaKaSa」飲むヨーグルトを



製品化。今年2〜7月の販売本数は約2万5千本で、リピーターを中心に販売数を伸ばしている。

飲むヨーグルトに製品化した後のH61株の作用を調べた最新の試験でも、被験者から「肌の調子が良くなった」「肌のしっとり感が増した」といった意見が寄せられている。JA茨城みずほでは、販売数の拡大を目指し、ブルーベリー味やイチゴ味といった新商品の開発も計画している。

美野里ふるさと食品公社（小美玉市部室）も、農研機構

乳酸菌「H61株」老化抑制や保湿も

構や筑波大などと連携し、地元生乳を使って長時間発酵させたカップタイプの「いきいきをいれ」をめざすあなたへ。」を開発。8月23日から自社直売所やインターネットで先行販売し、今月20日から茨城空港や東京・銀座の県のアンテナショップ「茨城マルシェ」でも展開する。

また、加熱処理によって菌が死んでも作用が認められる特性を生かして、今秋には県外の企業からサプリメントも販売される予定。

農研機構畜産草地研究所の木元広実主任研究員は「秋から冬に製品を摂取すれば、肌の保湿を実感できると思う」と話し、効果の検証に向けて研究を進める。

農研機構では、多くの人にH61株を知ってもらおうと、11月3日につくば市で研究成果の発表と公募した料理の試食会を行う。

茨城



水戸支局

〒310-0021
水戸市南町3-4-57
水戸セントラルビル2F
☎ 029-221-7158
FAX 029-222-2407
mio@sanket.co.jp
販売 029-225-1481
広告 029-240-3939
購読申し込み
0120-76-2950
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
03-3275-8864
Web
http://sanket.jp.msn.com/region/region.htm

あすのこよみ

(19日)
日8月15日
《仏滅》



月齢	13.6
日出	5:23
日入	17:40
日出	17:19
月入	4:50
満潮	3:15
	15:55
干潮	9:40
	21:55
大潮	(大洗)